

『八の釜憩いの森』の保全措置方針

これまでの調査の成果やみなさまから頂いたご意見を踏まえて、以下の通り、『八の釜憩いの森』の保全措置方針を策定しました。

【計画のコンセプト】

- 湧水地・水辺環境については、八の釜の湧き水を保全するとともに、動植物の生息・生育環境となること、人と自然との触れ合い活動の場となることを念頭に水辺環境を整備します。
- 緑地については、失われる緑の量と同程度以上の緑の量の回復を図ります。また、可能な限り、現況の植生タイプを目標植生とします。
- 具体的な保全措置方針については、以下のゾーンに区分します。

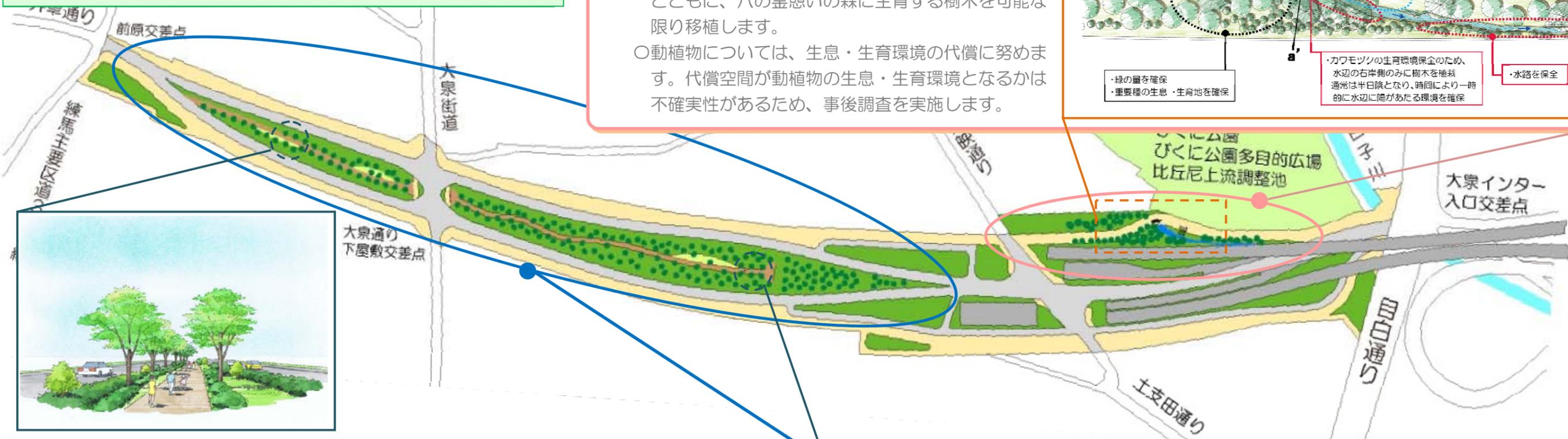
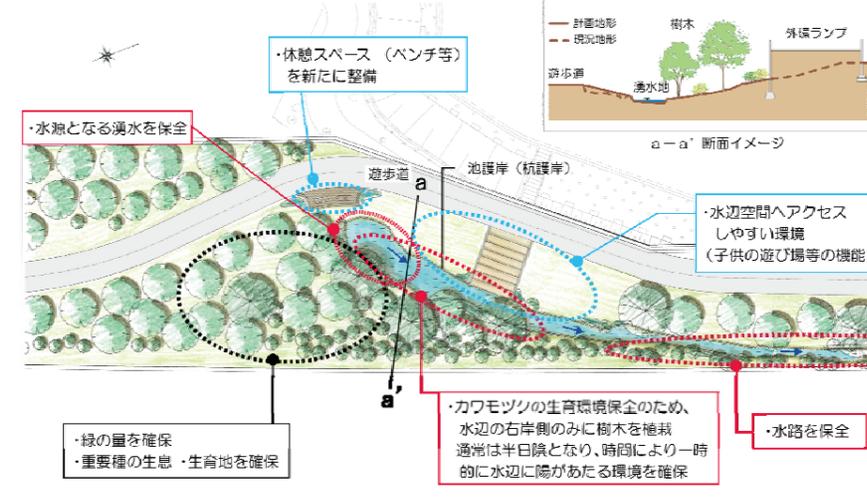
- A 湧水地の保全・人と自然（水辺環境）との触れ合いゾーン
- B 人と自然（緑地）との触れ合いゾーン

A 湧水地の保全・人と自然（水辺環境）との触れ合いゾーン

現況の八の釜憩いの森（湧水地）においては、八の釜の湧き水を保全することにより、重要な種の生息・生育環境を保全するとともに、水辺環境への触れ合いの場を整備します。また、将来の高木層を形成する樹木等を用いることにより、緑の量を確保します。

- 八の釜の湧き水の維持に努めるとともに、地下水に対する調査・モニタリングを実施します。
- 水辺の環境を適切に整備することにより、湧水に特徴的にみられるカワモツクの生育環境を整えます。
- 親水護岸など、水辺空間の整備については、将来管理者と調整を図ります。
- 緑地の整備に際しては、周辺の地域景観に配慮するとともに、八の釜憩いの森に生育する樹木を可能な限り移植します。
- 動植物については、生息・生育環境の代償に努めます。代償空間が動植物の生息・生育環境となるかは不確実性があるため、事後調査を実施します。

「八の釜憩いの森（湧水地）」



B 人と自然（緑地）との触れ合いゾーン

外環の地上部（中央分離帯）を緑化することにより、緑に触れ合え、地域のみなさまが交流できる憩いの場となるように整備します。

- 緑の量の回復への寄与や地域景観の形成等に配慮し、樹木による緑化を行います。
- 樹木については、地域のみなさまから花木や常緑樹のほか、落葉樹など様々な樹種への希望が寄せられております。樹木の配置等に際しては、見通しの確保や防犯・防災等の観点、周辺の地域景観に配慮し、詳細については、地域のみなさまのご意見を参考に、専門家、関係機関と調整し決定します。
- 散策路やベンチ等の休憩施設の設置については、緑と触れ合え、憩える空間となるよう、将来管理者と調整を図ります。



*びくに公園等

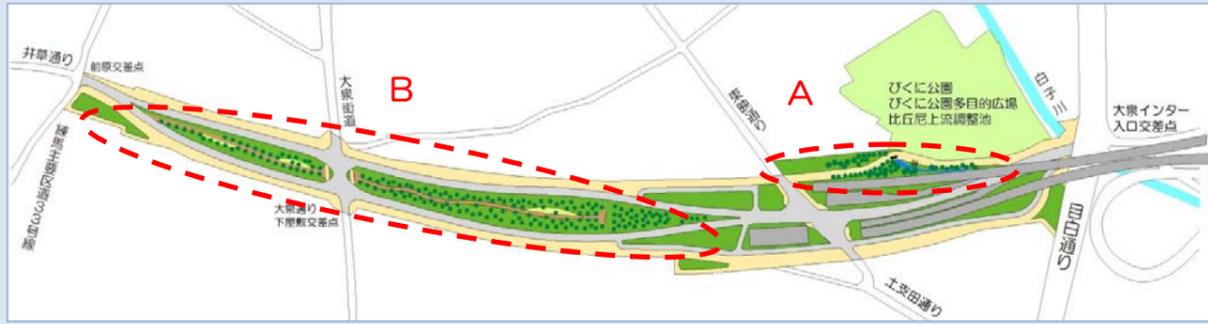
計画路線により障害が生じる遊歩道、アクセス道路の移設を行います。

*周辺環境との調和

外環地上部（中央分離帯）以外のスペースについても、可能な限り緑化するなど、周辺の地域景観と調和を図ります。

頂いた住民意見と事業者の見解 ～意見を聴く会やオープンハウス等でみなさまから頂いたご意見～

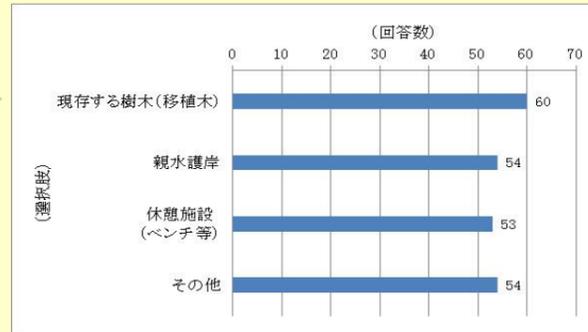
ゾーン区分



A 「湧水地の保全・人と自然(水辺環境)との触れ合いゾーン」に対するみなさまのご意見

Aゾーンでは、水辺環境への触れ合いの場を整備します。あなたが必要と思う樹木や自然との触れ合い施設を教えてください。

現存する樹木(移植木) 親水護岸 休憩施設(ベンチ等) その他



大分類	小分類	住民意見
整備のあり方		<ul style="list-style-type: none"> ◇現状、または現状に近い状態にしてほしい。 ◇面積を可能な限り広く確保してほしい。 ◇緑地や水辺環境の創出に際しては、生態系、緑の質の保全を含め、ひくに公園等との連続性に配慮すること。
自然環境	緑地	<ul style="list-style-type: none"> ◇可能な限り今ある保護樹林等の緑地を残してほしい。 ◇新たに植樹した方がよい。 ◇低木の活用を含め、可能な限り樹木を多くしてほしい。 ◇咲く時期の異なる花木や実のなる樹木等、多様な樹木を植えてほしい。 ◇緑地が全く残らないなら、その旨説明すべきだ。
	湧水、水辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ◇工事中の湧水の保全を工夫してほしい。 ◇湧水を保全してください。万が一湧水が枯れたときの対応策を今から検討しておくべきである。 ◇ハの釜の湧水保全については、最大限、技術的な努力をしているようだ。 ◇水環境の代償をひくに公園でできるのではないか。
	触れ合い、景観	<ul style="list-style-type: none"> ◇親水護岸を作る等して、子供達が安全に水遊びできる場所があると良い。 ◇大泉ジャンクション周辺地域の環境と調和のとれた景観を希望します。
	動植物、生態系	<ul style="list-style-type: none"> ◇水辺環境に生息生育する動植物、湧水環境を含む生態系等の現状の自然の姿を残してほしい。
その他施設	遊歩道等	<ul style="list-style-type: none"> ◇遊歩道、散策路(歩行者専用)、自転車道、ランニングロードを整備してほしい。 ◇噴水の設置を望む。 ◇バリアフリーの道も造ってほしい。

事業者の見解

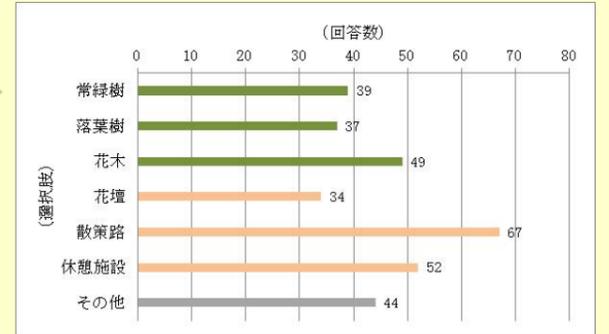
- 樹木、親水護岸、休憩施設については、いずれも多くの希望が寄せられております。
- 樹木については、周辺の地域景観にも配慮するとともに、ハの釜憩いの森に生育する樹木を可能な限り移植します。親水護岸などの水辺空間の整備については、将来管理者と調整を図ります。
- このほか、主な自由意見に関する見解は以下のとおりです。
 - (1) サイクリングロード・ランニングロード・噴水等の設置、又はひくに公園との繋がりについては、人と自然とのふれあいゾーンというゾーンの性格にも配慮しながら、将来管理者と調整の上、検討します。
 - (2) ハの釜の湧き水の維持に努めるとともに、地下水に対する調査・モニタリングを実施します。
 - (3) 動植物・生態系への配慮については、生息・生育環境の代償に努めます。代償空間が動植物の生息・生育環境となるかは不確実性があるため、事後調査を実施します。

B 「人と自然(緑地)との触れ合いゾーン」に対するみなさまのご意見

Bゾーンでは、地域の方が交流できる憩いの場を整備します。あなたが必要と思う樹木や憩い施設を教えてください。

常緑樹(シラカシ等) 落葉樹(コナラ、ケヤキ等)

花木(サクラ等) 花壇 散策路 休憩施設(ベンチ等) その他



大分類	小分類	住民意見
整備のあり方		<ul style="list-style-type: none"> ◇公園化を希望する。 ◇四季を感じられるようにしてほしい。 ◇無駄な建物等は作らず、できるだけ自然を生かしてほしい。 ◇中央分離帯を利用したいと思うには魅力付けが必要であり、水辺環境を多くとったこれまでにないデザイン等を期待しています。 ◇バリアフリーの道の整備等、歩行者の安全な交通を確保してほしい。
自然環境	緑地	<ul style="list-style-type: none"> ◇面積を広く、緑をたくさん植えるべき。 ◇花木や紅葉する樹木等、四季を楽しめる樹木を植えてほしい。 ◇地元由来のある植物を中心に配置してほしい。 ◇防犯面からうっそうとした森にならないよう配慮してほしい。 ◇花壇については地元住民に(維持管理等)まかせてはどうか。 ◇中央分離帯に原生林を作ってはどうか。
	動植物	<ul style="list-style-type: none"> ◇カブトムシや蝶類などの昆虫が生息すると良い。
	触れ合い	<ul style="list-style-type: none"> ◇自由に散策できる空間になると良い。 ◇緑地の整備に際しては、人の立ち入れる、地域のコミュニティの場となるように配慮してもらいたい。 ◇小さくても良いので、地域の人達と管理・運営ができるコミュニティ施設も造ってもらいたい。
その他施設		<ul style="list-style-type: none"> ◇子供たちの遊具、広場、運動場、トイレ、ゲートボール場、自転車道、ランニングロード、ドッグラン等を整備してほしい。 ◇低木を植え込み、駐車場として利用したらどうか。 ◇噴水、売店、コミュニティ施設、散策路、ベンチの設置。 ◇災害時支援施設を設置してほしい。

事業者の見解

- アンケートの結果も踏まえ、緑の量の回復への寄与や周辺の地域景観に配慮しながら、樹木による緑化を行います。また、散策路やベンチ等の休憩施設、花壇等の整備については、緑と触れ合え、憩える空間となるよう、将来管理者と調整を図ります。
- 樹木については、花木や常緑樹のほか、落葉樹など様々な樹種へ希望が寄せられております。樹木の配置等に際しては、見通しの確保や防犯・防災等の観点、周辺の地域景観にも配慮し、詳細については、地域のみなさまのご意見を参考に、専門家、関係機関と調整し決定します。
- この他、主な自由意見に関する見解は以下のとおりです。
 - (1) 自転車道、ランニングロード、広場、遊具・運動場、ゲートボール場、ドッグラン、噴水、売店、コミュニティ施設、トイレ、災害支援施設、昆虫の生息場、水辺環境等の整備については、将来管理者と調整の上、検討します。
 - (2) バリアフリー確保に配慮して計画します。

このほか、以下のような意見がありました。

- ◇緑地を多く残すべき。目通りの良い緑地としてほしい。
- ◇費用が多少多くかかったとしても、次の世代に自然を残してあげたい。
- ◇維持管理の労力を低減しつつも、季節を感じられる自然を残してもらいたい。
- ◇従来は暗い印象があるので明るくなるような整備を希望します。 など